

# ⑦商工費

# 事業カルテ ( 3年度決算 )

経済観光課

07-01-02-435

中小企業事業資金貸付あっせん事業

## ◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	—			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	働き、学び、遊び みんなが活気と魅力を感じるまち				
	政策	D1	人々が集い、働く、活気と魅力あふれるまちづくり			
	施策	1	産業振興による地域経済の活性化の推進			
	関連する施策	—	—	—	—	—
関連する個別計画	—					
関連する報告書など	—					
事業開始の経緯、 これまでの見直し改善など	<p>平成8年度 全部改正により独立開業資金を追加、運転・設備は保証協会の保証付融資とした。</p> <p>平成13年度 創業支援資金の融資限度額及び保証料補助を拡充した。</p> <p>平成17年度 融資限度額の拡充及び利子補給率の引き上げを行った。</p> <p>平成21年度 小口零細保証制度を市の制度に取り込み、融資枠までの重複申し込みを可能とした。</p> <p>平成29年度 借換え資金制度を導入した。</p> <p>令和元年度 小規模企業者支援資金の貸付け上限額を2,000万円に引き上げた。</p> <p>令和2年度 東京都制度融資との連携、借換え制度の変更を行った。また、新型コロナウイルス感染症対応として保証料補助や利子補給の拡充を行った。</p> <p>令和3年度 地域経済に重大な影響を及ぼす事態が生じた場合に限り発動する緊急支援資金制度を設置した。</p>					

## ◇令和3年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和3年度の目標	本事業は、市内中小企業者の健全な発展や経営の安定、活発な創業活動の支援を目的に、金融機関及び東京信用保証協会の協力のもと、市が事業資金の貸付けをあっせんし、その借受利子の補給と保証料の一部を補助するものである。
予算の執行方法	あっせんの結果、貸付決定を受けた事業者に対し保証料を補助するとともに、年2回に分けて利子補給を行う。
事業の成果	保証料補助、利子補給などの支援をすることで、中小企業者の経営基盤が安定し、活発な企業活動の一助となった。

## ◇事業にかかる費用

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	26,730 千円	26,705 千円	28,322 千円	34,775 千円	28,710 千円	
事業にかかる実コスト	34,464 千円	32,829 千円	35,461 千円	40,192 千円	34,106 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	26,730 千円	26,705 千円	28,322 千円	34,775 千円	28,710 千円
間接経費						
職員人件費	6,610 千円	5,040 千円	6,008 千円	4,186 千円	4,141 千円	
《従事人員数》	0.75 人	0.60 人	0.70 人	0.50 人	0.50 人	
その他の人件費	1,124 千円	1,084 千円	1,131 千円	1,231 千円	1,255 千円	

## ◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	利用件数	目標	160	160	160
		結果	117	118	—
成果指標 (アウトカム)	制度の趣旨から考えて指標を設定することは馴染まない。	目標	—	—	—
		結果	—	—	—

特記事項

—

## ◇自己点検

の 成 果 指 標 の 推 移	今後の見通し		方 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量 的	財 源 的		
N	N	B	イ	<p>本制度の申請は、多摩商工会議所における経営指導を受けることが要件になっており、今後も、中小企業が安定して経営できるよう、商工会議所と連携し事業を継続する。</p> <p>他の公的融資の返還時期や物価上昇の事業者への影響など注視する必要がある。</p>

< 中小企業事業資金貸付あっせん事業 >

◇ 執行状況及び成果等 (資料作成時点の実行分)

1 利子補給金・保証料補助金実績 (単位：円)

年度	利子補給		保証料補助金			
	件数	金額	あっせん保証料		合計	
			件数	金額	件数	金額
29	1,341	20,134,152	86	6,596,018	86	6,596,018
30	1,241	19,028,971	93	7,144,798	93	7,144,798
元	1,235	19,838,369	105	7,522,587	105	7,522,587
2	1,142	21,868,262	104	12,787,975	104	12,787,975
3	986	22,483,602	50	6,107,325	50	6,107,325

2 中小企業事業資金貸付実績 (単位：円)

年度	運転		設備		創業		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
29	88	681,500,000	8	40,000,000	13	29,200,000	109	750,700,000
30	94	668,800,000	25	120,100,000	15	63,000,000	134	851,900,000
元	113	794,950,000	23	132,350,000	11	34,400,000	147	961,700,000
2	88	790,600,000	19	79,100,000	10	50,500,000	117	920,200,000
3	82	554,100,000	23	85,300,000	13	86,300,000	118	725,700,000

※実績数は、出納閉鎖時(5月末)の実行分

3 中小企業資金利子補給金計算システム保守運用業務委託費

年度	金額
元	961,200
2	118,800
3	118,800

# 事業カルテ ( 3年度決算 )

経済観光課

07-01-02-436

多摩商工会議所補助事業

## ◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	—			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	働き、学び、遊び みんなが活気と魅力を感じるまち				
	政策	D1	人々が集い、働く、活気と魅力あふれるまちづくり			
	施策	1	産業振興による地域経済の活性化の推進			
	関連する施策	—	—	—	—	—
関連する個別計画	—					
関連する報告書など	—					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	昭和46年4月に多摩町商工会として設立され、同年11月に多摩市商工会、平成8年に現在の多摩商工会議所が創立した。平成8年度から5年計画で補助金の削減や見直しを図った。平成19年度に補助要綱を改正し、経営改善普及事業を主たる補助事業と整理した。平成20年度より事業資金貸付あっせん制度に係る経営指導及び申請受付業務を実施している。平成20年度から商工会議所管内の中小企業等における景況アンケートを年に1回実施し、結果の共有を行っている。平成22年度からは、中小企業の実態をより把握するため、半年に1回実施している。					

## ◇令和3年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和3年度の目標	市内商工業の振興と地域経済の活性化促進を目的に、多摩商工会議所が行う経営改善普及事業(経営指導・相談・記帳指導・創業支援等)に対し補助金を交付する。商工会議所の専門性を活かし、市内の中小事業者に対する支援(経営指導・相談、セミナー・記帳指導等)を充実させる。
予算の執行方法	多摩商工会議所が実施する経営改善普及事業費に対し、補助金を交付する。
事業の成果	コロナ禍の中でも団体の特性を生かした経営指導や専門セミナーを通して、市内の商工業者を始めとした中小事業者への適切な支援が図られた。

## ◇事業にかかる費用

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	10,000 千円	10,000 千円	9,971 千円	10,000 千円	10,000 千円	
事業にかかる実コスト	12,644 千円	11,680 千円	11,687 千円	11,674 千円	11,242 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	10,000 千円	10,000 千円	9,971 千円	10,000 千円	10,000 千円
間接経費						
職員人件費	2,644 千円	1,680 千円	1,716 千円	1,674 千円	1,242 千円	
《従事人員数》	0.30 人	0.20 人	0.20 人	0.20 人	0.15 人	
その他の人件費	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

## ◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	経営指導及び相談事業の実績 (指導件数、講習会の回数、記帳指導数、金融の斡旋件数の合計数)	目標	2,200件	2,200件	2,200件
		結果	3,230件	2,709件	—
成果指標 (アウトカム)	事業の性質から、指標を設定することは馴染まない	目標	—	—	—
		結果	—	—	—

特記事項

—

## ◇自己点検

成果指標 の 推移	今後の見通し		方 今 向 後 の 性	今後の課題や方向性に関するコメント
	量 的	財一 源 般		
A	B	B	イ	中小企業者への支援や育成は、高度な専門性が求められるため、行政が直接実施することは難しい。多摩商工会議所の専門性が活かされる本事業により、中小企業の事業活動を支援することで、地域経済の活性化を図る。また、多摩商工会議所の持つ組織力やネットワークによる企業に対する情報発信力を活用し、引き続き市からの情報を市内企業へ届けてもらえるよう働きかける。

<多摩商工会議所補助事業>

◇執行状況及び成果等

1 多摩商工会議所事業費等補助金

年度	補助額 (円)	内訳 (円)	会員数 (人)
		経営改善普及事業	
29	10,000,000	10,000,000	1,967
30	10,000,000	10,000,000	1,957
元	9,971,284	9,971,284	1,968
2	10,000,000	10,000,000	1,925
3	10,000,000	10,000,000	1,966

※会員数は、年度末の人数

2 多摩商工会議所経営改善普及事業実績

年度	指導件数	講習会開催回数	記帳指導回数	金融の斡旋件数	合計
29	1,551	14	227	184	1,976
30	1,953	30	228	240	2,451
元	2,004	26	231	237	2,498
2	2,776	25	147	282	3,230
3	2,310	22	198	179	2,709

# 事業カルテ ( 3年度決算 )

経済観光課

07-01-02-437

多摩市商店会装飾街路灯補助事業

## ◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	—			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	働き、学び、遊び みんなが活気と魅力を感じるまち				
	政策	D1	人々が集い、働く、活気と魅力あふれるまちづくり			
	施策	1	産業振興による地域経済の活性化の推進			
	関連する施策	—	—	—	—	—
関連する個別計画	—					
関連する報告書など	—					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	昭和56年度より、商店会が自主的に設置した装飾街路灯に対して電気料の一部を補助してきた。平成23年度、東京都商業振興施策である「特定施策補助事業」を活用し、「環境対策」「防犯効果の向上」「商店街活性化」を目的に、既存街路灯のLED化を実施した。					

## ◇令和3年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和3年度の目標	商店街が自主的に設置した装飾街路灯に対して、電気料の一部を補助することにより、日常生活の一部である商店街の利用を安全・安心なものとし、商業活動の振興を図る。
予算の執行方法	多摩市商店会装飾街路灯電気料補助金として交付する。
事業の成果	商店街利用者の安全・安心を向上させることができた・また新型コロナウイルス感染症の影響により低迷した商店街が、にぎわいを取り戻すための基盤インフラを維持することができた。

## ◇事業にかかる費用

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	826千円	925千円	931千円	830千円	942千円	
事業にかかる実コスト	2,589千円	2,605千円	1,789千円	1,667千円	1,770千円	
内訳	直接経費					
	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	都支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	その他特定財源	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	一般財源	826千円	925千円	931千円	830千円	942千円
間接経費						
職員人件費	1,763千円	1,680千円	858千円	837千円	828千円	
《従事人員数》	0.20人	0.20人	0.10人	0.10人	0.10人	
その他の人件費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	

## ◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	商店会への補助	目標	3商店会 178基	3商店会 178基	3商店会 178基
		結果	3商店会 178基	3商店会 178基	—
成果指標 (アウトカム)	事業の性質から、指標を設定することはなじまない	目標	—	—	—
		結果	—	—	—

特記事項

—

## ◇自己点検

の成果 推移 指標	今後の見通し		方今後の 向性の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的 的	財一 源般		
B	B	B	イ	商店会が設置している装飾街路灯は、市が設置・管理している街路灯を補完し、市民の安全や街の活性化に寄与するものであり、公共的な性質のものであるため、今後も電気料の一部補助を継続していく。また、新型コロナウイルス感染症の影響により低迷した商店街が、にぎわいを取り戻すための基盤インフラの維持を目指す。

## <多摩市商店会装飾街路灯補助事業>

### ◇執行状況及び成果等

#### 1 商店会装飾街路灯補助事業（電気料）

単位(円)

年度	商店会名・街路灯基数			補助金合計額
	中央商店会 42基	多摩センター商店会 92基	桜ヶ丘南口商店会 44基	
29	234,577	368,013	223,623	826,213
30	257,893	413,205	253,622	924,720
元	260,667	415,256	254,449	930,372
2	236,845	369,121	223,534	829,500
3	263,017	420,736	257,796	941,549

# 事業カルテ ( 3年度決算 )

経済観光課

07-01-02-439

創業・経営支援事業

## ◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	—			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	働き、学び、遊び みんなが活気と魅力を感じるまち				
	政策	D1	人々が集い、働く、活気と魅力あふれるまちづくり			
	施策	1	産業振興による地域経済の活性化の推進			
	関連する施策	—	—	—	—	—
関連する個別計画	多摩市創業支援事業中期計画、多摩市創業支援等事業計画、まち・ひと・しごと総合戦略					
関連する報告書など	—					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	平成17年11月に試行事業として東永山創業支援施設を開設した。平成23年度に施設をベルブ永山に移転し、多摩大学・多摩信用金庫との三者連携による事業の本格実施を開始した。平成28年度から、嘱託職員の創業支援事業推進員を配置し、相談事業を充実させた。しかし、時代の変化などにより、入居者数の減少傾向が続き、経費の約半額を一般財源からの補填によって運営していた状況を踏まえ、平成31年3月31日をもって施設を閉鎖した。平成30年度には、市内に立地するコワーキング施設等をビジネス支援施設として市が認定する制度を開始した。					

## ◇令和3年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成17年度
事業の目的、 令和3年度の目標	市内経済の活性化を目的に、創業者や経営者に対し相談事業や創業塾、経営塾などの支援策を実施することで、創業者等の市内定着を目指す。また、中小企業の後継者不足が課題となっていることから、新たに事業承継セミナーを開催する。多摩大学、多摩信用金庫との三者連携に民間事業者も加えたプラットフォームとして、民間事業者との連携事業等により、創業・経営支援に取り組んでいく。	
予算の執行方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>創業支援事業推進員人件費、講師謝礼(経営者交流会、事業承継セミナー、アドバイザー謝礼)、業務委託費(中小企業支援業務委託費、多摩市志創業塾運営業務委託費、創業機運醸成セミナー委託費等)、消耗品費等の支出</li> <li>多摩市ビジネス支援施設創業者利用料補助金の交付。</li> </ul>	
事業の成果	地域に根ざした新たな企業が市内に増え、安定した事業運営を行うことで、新たな地域雇用が創出されるなど地域経済が活性化するための一助となった。 市内事業所を訪問し課題のヒアリング等を行うとともに、経営者を集めた交流会を開催し、市内事業者との関係づくりを進めた。	

## ◇事業にかかる費用

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	21,112 千円	22,787 千円	6,606 千円	5,760 千円	5,972 千円	
事業にかかる実コスト	34,331 千円	35,388 千円	19,480 千円	12,038 千円	11,770 千円	
内訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	4,913 千円	5,563 千円	130 千円	80 千円	186 千円
一般財源	16,199 千円	17,224 千円	6,476 千円	5,680 千円	5,786 千円	
間接経費	職員人件費	13,219 千円	12,601 千円	12,874 千円	6,278 千円	5,798 千円
	《従事人員数》	1.50 人	1.50 人	1.50 人	0.75 人	0.70 人
	その他の人件費	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円

## ◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	志創業塾の受講者数	目標	30人	30人	30人
		結果	16人	24人	—
成果指標 (アウトカム)	事業の特性から設定にはなじまないため記載しない	目標	—	—	—
		結果	—	—	—

特記事項

—

## ◇自己点検

の成果 推移 指標	今後の見通し		方今後 向後の 性	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的 的	財一 源般		
N	B	B	イ	産学金官連携のBS多摩プラットフォーム推進協議会の事業を円滑に実施し、民間ビジネス支援者等を支援する仕組みを確立させる。

<創業・経営支援事業>

◇執行状況及び成果等

1 執行状況

(単位：円)

年度	会計年度任用職員 報酬・旅費	需用費	報償費	役務費	委託料	使用料及び 賃借料	負担金・補助 及び交付金	合計
29	2,805,605	510,581		72,320	8,012,563	9,710,148	-	21,111,217
30	2,787,786	661,287		76,188	9,459,096	9,802,400	-	22,786,757
元	2,736,105	74,517		-	3,422,578	-	373,000	6,606,200
2	2,827,892	82,381	92,600	-	2,519,550	-	238,000	5,760,423
3	2,762,754	44,159	101,600	-	2,811,160	-	252,000	5,971,673

2 委託料内訳

(単位：円)

年度	情報通信技 術委託料	清掃業務委 託料	管理運営業 務委託料	機械警備業 務委託料	撤収業務委 託料/市内 企業情報 ファイル作 成業務委託 料	チラシ・ポ スター作成 業務委託料	創業・経営 支援業務委 託	シンポジウ ム運営業務 委託	合計
29	1,607,040	223,128	4,438,627	448,416	-	-	1,295,352	-	8,012,563
30	1,373,760	223,128	4,423,440	448,416	-	-	1,295,352	1,695,000	9,459,096
元	-	-	-	-	162,000	-	3,260,578	-	3,422,578
2	-	-	-	-	612,150	-	1,907,400	-	2,519,550
3	-	-	-	-	-	-	2,811,160	-	2,811,160

3 ビジネス支援施設利用料補助金

年度	補助件数(件)	補助金(円)
元	5	373,000
2	6	238,000
3	6	252,000

4 事業実施状況

年度	創業塾・セミナー		相談事業 経営相談(件)	経営者交流会 参加企業数(社)
	講座数(回)	延参加者数(人)		
29	33	342	232	-
30	26	325	234	-
元	33	318	134	15
2	34	449	70	6
3	37	426	128	21

# 事業カルテ ( 3年度決算 )

経済観光課

07-01-02-443

観光推進事業

## ◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	—
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	働き、学び、遊び みんなが活気と魅力を感じるまち	
	政策	D1	人々が集い、働く、活気と魅力あふれるまちづくり
	施策	2	観光の視点からのまちの魅力づくりの推進
	関連する施策	—	—
関連する個別計画	多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略、2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた多摩市の取組方針		
関連する報告書など	—		
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	平成19年度から、観光客の誘致や拠点地区の活性化を目的に観光事業を開始した。平成21年度以降、観光情報の発信媒体として順次観光マップ類を発行した。平成25年度には、産学官連携による手土産開発プロジェクトで「桜ぼろぼろん」を開発した。平成27年度には、多摩よこやまの道が新日本歩道道紀行「歴史の道」に認定されたことを機に、ニュータウン地区に整備された遊歩道とともに、新たな観光資源として整備した。平成31年3月、市内の企業や大学などの多様な主体が連携して市の観光施策を検討及び実施する協議体として、「多摩市観光まちづくり交流協議会」を設立した。令和2年1月、訪日外国人等の旅行者へのおもてなしを目的に、小田急多摩センター駅南側広場に無料Wi-Fiを設置した。		

## ◇令和3年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成19年度
事業の目的、 令和3年度の目標	全市的な観光情報の発信や観光インフラ整備、多摩市観光まちづくり交流協議会の運営等により、来街者に対するおもてなし体制の整備や観光の視点からの街づくりを推進する。 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、広く市外から観光客を誘致することは難しいという前提のもと、個人または小グループのマイクロツーリズムを促すことを中心とした取組みを行う。また、観光まちづくり交流協議会の事務局として、民間企業等と協働した観光推進施策にも引き続き取り組む。	
予算の執行方法	写真コンクール記念品購入、消耗品購入、Wi-Fi保守委託、マイクロツーリズムアイデアコンテスト負担金	
事業の成果	新型コロナウイルス感染症が収まらない中、桜・紅葉・梅・菖蒲・紫陽花等の見どころスポットや見頃状況をSNSやホームページへ掲載し、魅力発信とマイクロツーリズムを促した。桜マップと紅葉マップを市役所ロビーや窓口等で各500部程度配布した。その他市の魅力を様々な媒体を活用して発信した。近隣自治体との広域連携の取組みなど、多様な主体で事業を実施した。住民票等に使用する改ざん防止用紙等に、日本アニメーションのキャラクターデザインを導入した。	

## ◇事業にかかる費用

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	10,023 千円	2,584 千円	4,349 千円	1,015 千円	6,260 千円	
事業にかかる実コスト	18,761 千円	10,986 千円	21,514 千円	10,056 千円	15,205 千円	
内訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	6,306 千円	0 千円	555 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	0 千円	0 千円	240 千円	0 千円	3,782 千円
	一般財源	3,717 千円	2,584 千円	3,554 千円	1,015 千円	2,478 千円
間接経費						
職員人件費	7,051 千円	8,402 千円	17,165 千円	9,041 千円	8,945 千円	
《従事人員数》	0.80 人	1.00 人	2.00 人	1.08 人	1.08 人	
その他の人件費	1,687 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

## ◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	①ネット媒体の情報発信件数 ②情報誌等への情報提供数 ③観光マップ等の発行部数	目標	①50件 ②70件 ③0部	①60件 ②15件 ③0部	①90件 ②10件 ③35,000部
		結果	①54件 ②12件 ③0部	①110件 ②14件 ③0部	—
成果指標 (アウトカム)	*効果測定できないため未設定	目標	—	—	—
		結果	—	—	—

## 特記事項

誘客効果の数値測定は困難であるため成果指標は設定しない。

## ◇自己点検

の成果 推移 指標	今後の見通し		方今 向後 性の イ	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的	財一 源般		
N	A	A	イ	新型コロナウイルス感染症の状況に合わせ、引き続きマイクロツーリズムを中心とした来街促進の取組みを実施するとともに、既存の観光資源の更なる活用、誘客を伴うイベントの開催についても検討する。

<観光推進事業>

◇執行状況及び成果等

1. 執行状況

単位：円

年度	報償費	需用費	役員費	委託料	使用料	工事費	補助金	計
29	120,000	1,985,432	8,209	12,536,832	1,058,400	8,372,160	12,321,065	36,402,098
30	176,624	2,636,138	12,759	13,873,275	1,058,400	0	17,475,746	35,232,942
元	4,320	2,892,151	6,069	1,167,368	0	275,000	4,000	4,348,908
2	4,400	499,888	0	507,320	0	0	4,000	1,015,608
3	4,400	91,382	0	2,378,310	0	0	3,786,102	6,260,194

※令和元年度より観光事業を、観光推進事業、聖蹟桜ヶ丘活性化事業、多摩センター地区活性化事業、フィルムコミッション事業の4事業に細分化。

2. 観光推進事業実績

年度	地図・情報誌の発行	ビデオ・動画配信等	広報・HPの掲載	物産・展示・PR他
29	◇多摩市観光マップ ◇多摩センタータウンガイド ◇多摩よこやまの道 ◇聖蹟桜ヶ丘駅周辺ガイドマップ	◇ハローキティに会える街PRビデオ ◇せいせき桜ヶ丘STORY	桜開花、紅葉、観梅、富士山眺望スポット、まち歩きコース	◇観光PR（都庁、モノレールまつり成人式、東京観光情報センター多摩） ◇5市合同観光PR（都庁）
30	◇多摩市観光マップ ◇多摩センタータウンガイド ◇多摩よこやまの道 ◇聖蹟桜ヶ丘駅周辺ガイドマップ	◇ハローキティに会える街PRビデオ ◇せいせき桜ヶ丘STORY	桜開花、紅葉、観梅、富士山眺望スポット、まち歩きコース	◇観光PR（都庁、モノレールまつり、東京観光情報センター多摩） ◇5市合同観光PR（都庁、東京観光情報センター多摩）
元	◇多摩市観光マップ ◇多摩センタータウンガイド ◇多摩よこやまの道 ◇聖蹟桜ヶ丘駅周辺ガイドマップ	◇ハローキティに会える街PRビデオ ◇せいせき桜ヶ丘STORY	桜開花、紅葉、観梅、富士山眺望スポット、まち歩きコース	◇観光PR（都庁、モノレールまつり、東京観光情報センター多摩、多摩の魅力発信イベント） ◇5市合同観光PR（東京観光情報センター多摩）
2	◇多摩市観光マップ ◇多摩センタータウンガイド ◇多摩よこやまの道 ◇聖蹟桜ヶ丘駅周辺ガイドマップ	◇ハローキティに会える街PRビデオ ◇せいせき桜ヶ丘STORY	桜開花、紅葉、観梅、富士山眺望スポット、まち歩きコース	◇観光PR（東京観光情報センター都庁）
3	◇多摩市観光マップ ◇多摩センタータウンガイド ◇多摩よこやまの道 ◇聖蹟桜ヶ丘駅周辺ガイドマップ ◇自転車でめぐる多摩市のおすすめスポット	◇ハローキティに会える街PRビデオ ◇せいせき桜ヶ丘STORY	桜開花、紅葉、観梅、菖蒲、紫陽花、富士山眺望スポット、まち歩きコース	◇多摩地域マイクロツーリズムプロジェクト

# 事業カルテ ( 3年度決算 )

経済観光課

07-01-02-444

多摩市企業誘致事業

## ◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	多摩市企業誘致条例			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	働き、学び、遊び みんなが活気と魅力を感じるまち				
	政策	D1	人々が集い、働く、活気と魅力あふれるまちづくり			
	施策	1	産業振興による地域経済の活性化の推進			
	関連する施策	—				
関連する個別計画	—					
関連する報告書など	—					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	平成14年に制定した多摩市企業誘致条例は、これまでに、奨励措置期間の変更、指定企業取消要件の追加、雇用奨励金の創設、本社立地優遇等の改正を重ね、市内の企業誘致を促進し、指定企業の立地による市税収入の向上や雇用の確保に貢献してきた。令和4年度は、まちのリニューアルに合わせて、変化し続ける企業活動や環境問題などの社会情勢に則した柔軟で効果的な制度に内容を改め、新たに「多摩市企業立地促進条例」を施行した。					

## ◇令和3年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成14年度

事業の目的、 令和3年度の目標	新住宅市街地開発法に基づき整備された事業用地に、新たに立地する企業等に対し奨励措置を講じることで立地促進を図り、安定した税収の確保と雇用機会の拡大を図ると共に、多摩ニュータウンの都市としての自立を図ることを目的に実施している。本年度は引き続き、指定企業に対して、効果測定を実施し立地後の雇用や地元への経済効果の検証を行うと共に、市内の立地継続のために企業との連携を強める。あわせて、ニュータウン内の未処分地区がほぼなくなったことや南多摩尾根幹線道路沿道の土地利用方針策定の動きなど、土地利用状況等の課題を踏まえた上で、令和3年度に満期を迎える現行条例の改正を行う。
予算の執行方法	指定企業に対し、前年度に納付された固定資産税・都市計画税相当額を奨励金として交付する。今年度対象となる指定企業は、1企業。
事業の成果	令和3年度奨励金交付対象となった指定企業は、1企業であった。 本制度により、企業の進出意欲を促進し、企業誘致による税収の確保、地域経済の活性化及び、地域貢献活動等につなげている。 <条例改正> 大手企業の誘致のみならず市内中小企業流出の防止策も踏まえ、新たな企業誘致のあり方の検討を行い、令和3年度末に税収拡大のスキームを盛り込んだ新条例の改正を行った。 <市民理解の促進> 指定施設である研修施設兼ミュージアムでは、地域の学校における課外授業の受け入れや、周辺住民を主体とした任意団体への講習会の実施など、当施設の専門性を活かした市民向け事業を実施することが地域貢献へつながっている。令和3年度「たま広報」7月5号では、こうした指定施設の中でも一般市民が入館できる施設を中心に広く広報することで、各施設の地域貢献の取組を身近な体験から知ってもらい、奨励制度について市民の理解を深める取組を進めた。

## ◇事業にかかる費用

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	116,397 千円	116,179 千円	0 千円	53,026 千円	49,680 千円	
事業にかかる実コスト	119,922 千円	118,699 千円	6,866 千円	58,049 千円	54,650 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	116,397 千円	116,179 千円	0 千円	53,026 千円	49,680 千円
間接経費						
職員人件費	3,525 千円	2,520 千円	6,866 千円	5,023 千円	4,970 千円	
《従事人員数》	0.40 人	0.30 人	0.80 人	0.60 人	0.60 人	
その他の人件費	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

## ◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	企業誘致(新規)指定企業数	目標	1事業者	1事業者	1事業者
		結果	0事業者	0事業者	—
成果指標 (アウトカム)	企業進出は、地域経済が活性化する為の一つの要素に過ぎないため、成果指標にはなじまない。	目標	—	—	—
		結果	—	—	—

特記事項

—

## ◇自己点検

の 成 果 推 移 指 標	今後の見通し		方 今 向 後 の 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	ニ 量 メ 的	財 一 源 般		
N	N	N	ウ	制度を推進する上では、奨励金の交付額に見合った地域経済への波及効果や、各社の地域貢献活動について市民へ周知し、奨励制度の理解を得ていく必要がある。 進出企業の地域貢献につながる事業の周知や、地元企業としての持続的、発展的な展開に向けた企業誘致活動の検討も合わせて行っていく。

## <多摩市企業誘致事業>

### ◇執行状況及び成果等

#### 1 企業誘致条例に基づく指定企業

	事業所名	指定	奨励期間	奨励金交付開始年度
1	株式会社グリーン・ワイズ	平成17年5月	3年	平成19年度
2	SCSK株式会社	平成19年5月	5年	平成21年度
3	京西テクノス株式会社	平成19年11月	5年	平成22年度
4	KDDI株式会社(1)	平成20年5月	5年	平成22年度
5	JUKI株式会社	平成21年11月	5年	平成23年度
6	株式会社きらぼし銀行 (指定時(株)東京都民銀行)	平成23年5月	5年	平成26年度
7	株式会社野村総合研究所	平成24年8月	5年	平成26年度
8	株式会社長谷工コーポレーション	平成30年3月	5年	令和2年度
9	KDDI株式会社(2)	令和2年2月	5年	令和4年度

※株式会社レイテックスは平成24年度に指定企業の取り消しが決定された

#### 2 奨励金交付状況

単位：千円

年度	(株)東京都民銀行	(株)野村総合研究所	(株)長谷工コーポレーション	合計
29	16,397	100,000		116,397
30	16,179	100,000		116,179
元				
2			53,026	53,026
3			49,680	49,680

# 事業カルテ ( 3年度決算 )

経済観光課

07-01-02-445

聖蹟桜ヶ丘活性化事業

## ◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	—		
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	働き、学び、遊び みんなが活気と魅力を感じるまち			
	政策	D1	人々が集い、働く、活気と魅力あふれるまちづくり		
	施策	4	拠点地区活性化の推進		
	関連する施策	—	—	—	—
関連する個別計画	多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略、多摩市商業活性化計画				
関連する報告書など	—				
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	<p>平成27年度から、市内の二大拠点の一つである聖蹟桜ヶ丘地区の活性化を目的に事業を開始した。同年、かつて多摩川河川敷で実施していた「せいせき多摩川花火大会」に代わる新たな地域イベントとして、試行でせいせきみらいフェスティバルを実施した。本イベントは、翌平成28年度に充足した市民主体の実行委員会による主催イベントとしてその後も継続して実施しており、現在では地域の一大イベントとして定着している。市は実行委員会に対する補助金の交付と事務局機能の一部を担うことで支援している。</p> <p>また、地域の魅力向上の取り組みとして、平成28年度に日本アニメーション(株)と「地域活性化に関する連携協定書」を締結し、同社の人気キャラクターを活用した各種施策を実施してきた。同様の取り組みとして、聖蹟桜ヶ丘がモデル地になったといわれている映画「耳をすませば」について、市民団体「せいせき観光まちづくり会議」と協働で映画上映会や街のインフラ整備などのおもてなし事業を実施している。</p>				

## ◇令和3年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成27年度

事業の目的、 令和3年度の目標	市の北側の玄関口である聖蹟桜ヶ丘駅周辺地域において、市民や事業者と連携し、イベントや情報発信を行うことで賑わいを創出する。 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ、安心安全に地域イベントが実施できるよう支援を行う。また、マイクロツーリズムの観点から、アニメ等のコンテンツを活用し改めて市民や近隣住民に地域の魅力を知ってもらうことで、地域経済の活性化を促す。
予算の執行方法	映画祭の業務委託、せいせきみらい活性化実行委員会への補助
事業の成果	市民や立地企業と協力してイベントを実施することで、街ぐるみで来街者をおもてなしする体制を構築した。また、イベントや広報活動をきっかけにより多くの人に街の魅力を知ってもらうことで、地元商店での消費活動を促し、地域経済を活性化させた。

## ◇事業にかかる費用

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	7,822 千円	10,060 千円	11,513 千円	3,341 千円	2,276 千円	
事業にかかる実コスト	15,256 千円	16,780 千円	23,528 千円	13,888 千円	13,043 千円	
内訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	982 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	3,000 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	4,822 千円	10,060 千円	11,513 千円	3,341 千円	1,294 千円
間接経費						
職員人件費	6,169 千円	6,720 千円	12,015 千円	10,547 千円	10,767 千円	
《従事人員数》	0.70 人	0.80 人	1.40 人	1.26 人	1.30 人	
その他の人件費	1,265 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

## ◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	主催イベント実施数	目標	3回	—	—
		結果	2回	1回	—
成果指標 (アウトカム)	主催イベント来場者数	目標	36,000人	—	—
		結果	1,000人	481人 (※動画再生数)	—

## 特記事項

※令和3年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け測定が困難なため、目標を設定していない。  
※令和3年度はラスカル子ども映画祭を限定オンラインで開催。

## ◇自己点検

の成果 の推移 指標	今後の見通し		方今 向後の 性の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的	財一 源般		
N	A	A	イ	<p>聖蹟桜ヶ丘地区では、「聖蹟桜ヶ丘かわまちづくり計画」や開発事業等により街の姿が大きく変わろうとしており、引き続き地域資源であるアニメキャラクターや映像作品をいかし、企業や商店会、市民団体と連携しソフト面から街の活性化に取り組む。新型コロナウイルス感染症の影響はまだ続くと思われるため、各種主催イベントについては、感染予防対策を十分に取りつつ、街の回遊性を意識しながら実施方法を検討する。</p>

<聖蹟桜ヶ丘活性化事業>

◇執行状況及び成果等

1. 執行状況

単位：円

年度	需用費	委託料	使用料	補助金 ※1	計
元	0	2,376,000	43,200	9,094,080	11,513,280
2	1,006,500	1,870,000	44,000	420,837	3,341,337
3	0	2,018,500	44,000	213,141	2,275,641

※1 せいせきみらいフェスティバル事業費補助金

2. 聖蹟桜ヶ丘地区活性化事業実績

年度	事業名	来場者数	開催期間	開催日数
29	聖蹟桜ヶ丘周辺音声ガイド付まち歩き	1,604人	7/15～1/31	201日間
	せいせき桜ヶ丘ラスカルこども映画祭withキネコ映画祭	1,400人	8/5～6	2日間
	せいせきみらいフェスティバル	荒天により中止		
	計	3,004人		
30	聖蹟桜ヶ丘周辺まち歩きスタンプラリー	1,376人	10/1～12/21	82日間
	せいせき桜ヶ丘ラスカルこども映画祭withキネコ映画祭	1,600人	8/4～5	2日間
	せいせきみらいフェスティバル	33,000人	9/16	1日間
	計	35,976人		
元	聖蹟桜ヶ丘周辺まち歩きスタンプラリー	732人	10/1～11/29	60日間
	せいせき桜ヶ丘ラスカルこども映画祭withキネコ映画祭	1,600人	8/3～8/4	2日間
	せいせきみらいフェスティバル	36,000人	9/15	1日間
	計	38,332人		
2	聖蹟桜ヶ丘周辺まち歩きスタンプラリー	コロナにより中止		
	せいせき桜ヶ丘ラスカルこども映画祭withキネコ映画祭	500人	12/12	1日間
	せいせきみらいフェスティバル(シークレット花火を実施)	500人	11/7	1日間
	計	1,000人		
3	聖蹟桜ヶ丘周辺まち歩きイベント	コロナにより実施していない		
	せいせき桜ヶ丘ラスカルこども映画祭withキネコ映画祭	481人	2/11～13 ※オンライン開催	3日間
	せいせきみらいフェスティバル	コロナにより中止		
	計	481人		

# 事業カルテ ( 3年度決算 )

経済観光課

07-01-02-446

多摩センター地区活性化事業

## ◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	—			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	働き、学び、遊び みんなが活気と魅力を感じるまち				
	政策	D1	人々が集い、働く、活気と魅力あふれるまちづくり			
	施策	4	拠点地区活性化の推進			
	関連する施策	D1-2	—	—	—	—
関連する個別計画	多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略、多摩市商業活性化計画、都市再生整備計画(多摩センター駅周辺地区)					
関連する報告書など	行動指針(令和4年度～令和6年度)～これからの多摩センターのあゆみ方					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	市の拠点である多摩センター地区では、平成14年度から「多摩センター活性化事業」、「ハローキティにあえる街多摩センター」などを展開し地域の活性化を図ってきた。また、地元企業等で結成された活性化団体「多摩センター地区連絡協議会」による賑わい創出イベントに対して、財政支援を行い事業の拡大を図っている。平成25年度には多摩センター地区の遊歩道(歩行者専用道路)を「ハローキティストリート」、「しまじろう広場」と命名し、両キャラクターのモニュメントを設置し平成30年度には5周年記念イベントを開催するなど、観光スポットとして整備し、活性化事業を展開してきている。					

## ◇令和3年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成14年度
事業の目的、 令和3年度の目標	本事業は、地元企業等と連携して賑わい空間の創出や観光施策を展開し、市内外からの誘客を図るとともに街の活性化を推進していくことを目的とする。新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの集客イベントは内容や実施方法の変更が生じている状況である。 また、人々の生活様式は刻々と変化し、まちに求める価値も変わってきている。これらを契機として、多摩センター地区連絡協議会の事業、イベントについても、これらの変化、ニーズに対応した事業へと再構築し多摩センター地域全体の更なる活性化を目指す。 また、パルテノン大通り十字路南側の活性化を促す社会実験を行うとともに、多摩中央公園と公園内施設の改修・再整備に合わせ、協議会(プラットフォーム)を設立する。	
予算の執行方法	業務委託料、修繕料、事業費補助金、消耗品等	
事業の成果	○多摩センター地区連絡協議会では、小型イベントやマルシェなど感染症に配慮した手法により年間を通して事業を実施した。 ○「ハローキティにあえる街」事業では、リアルとオンラインの両方を活用したグリーティングを実施。令和4年3月パルテノン多摩プレオープンに合わせたスペシャルイベントを実施した。 ○多摩中央公園と公園内施設の連携体制として、令和4年3月29日に多摩中央公園・多摩センター連携協議会を設立した。 ○また、令和3年度は、これまでの多摩センターの活性化施策を振り返り多摩中央公園がフルオープンする、令和6年度末に向け多摩センターの将来のビジョンを策定していくことを目指し、「行動指針(令和4年度～令和6年度)～これからの多摩センターのあゆみ方～」を策定した。	

## ◇事業にかかる費用

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	15,548 千円	16,476 千円	14,252 千円	23,576 千円	16,613 千円	
事業にかかる実コスト	22,982 千円	22,356 千円	22,834 千円	31,110 千円	24,067 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	都支出金	216 千円	1,296 千円	0 千円	0 千円	79 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	0 千円	370 千円	0 千円	0 千円	933 千円
	一般財源	15,332 千円	14,810 千円	14,252 千円	23,576 千円	15,601 千円
間接経費						
職員人件費	6,169 千円	5,880 千円	8,582 千円	7,534 千円	7,454 千円	
《従事人員数》	0.70 人	0.70 人	1.00 人	0.90 人	0.90 人	
その他の人件費	1,265 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

## ◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	多摩センター地区イベント実施数	目標	5イベント	—	—
		結果	3イベント	—	—
成果指標 (アウトカム)	多摩センター地区来街者数	目標	525万人	—	—
		結果	243万人	—	—

## 特記事項

※新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ指標設定・測定が困難なため未設定  
 <参考>多摩センター地区来街者に係るイベント・・・こどもまつり、夏まつり、ハロウィン、イルミネーション、スプリングフェスタ  
 多摩センター関連施設・・・サンリオピューロランド、多摩美術大学美術館、東京都埋蔵文化財センター、ベネッセスタードーム、長谷工マンションミュージアム、KDDIミュージアム、KDDIアートギャラリー

## ◇自己点検

の 成 果 推 移 指 標	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	ニ 量 的	財 一 源 般		
N	N	N	I	本事業は、多摩センター地区を活性化することを目的に展開するものであり、特に賑わい創出、回遊性の向上を促すため、集客事業を中心に推進してきた。地域経済の低迷を防ぐ一助とするため、立地企業等とともに、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、新たな事業展開のありかたを構築していく。

<多摩センター地区活性化事業>

◇執行状況及び成果等

1. 執行状況

単位：円

年度	需用費	役員費	委託料	使用料	補助金 ※1	計
元	106,700	509	3,840,100	304,800	10,000,000	14,252,109
2	649,649	509	18,077,760	308,000	4,540,000	23,575,918
3	0	775	9,476,540	374,000	6,761,871	16,613,186

※1 多摩センター地区連絡協議会事業費補助金

2. 多摩センター地区活性化事業実績

年度	事業名	来場者数	開催期間	開催日数
29	ガーデンシティ多摩センターこどもまつり	446,000 人	5/3～5	3 日間
	多摩センター夏まつり	141,000 人	8/9～13	5 日間
	ハロウィンin多摩センター	271,500 人	10/27～29	3 日間
	多摩センターイルミネーション	2,200,000 人	11/11～翌1/8	59 日間
	多摩センタースプリングフェスタ	65,000 人	3/23～25	3 日間
	計	3,123,500 人		
30	ガーデンシティ多摩センターこどもまつり	458,000 人	5/3～5	3 日間
	多摩センター夏まつり	152,000 人	8/15～19	5 日間
	ハロウィンin多摩センター	356,000 人	10/26～28	3 日間
	多摩センターイルミネーション	2,300,000 人	11/10～翌1/6	58 日間
	多摩センタースプリングフェスタ	46,000 人	3/22～24	3 日間
	計	3,312,000 人		
元	ガーデンシティ多摩センターこどもまつり	456,000 人	5/3～5	3 日間
	多摩センター夏まつり	156,000 人	8/14～18	5 日間
	ハロウィンin多摩センター	380,000 人	10/24～27	3 日間
	多摩センターイルミネーション	2,350,000 人	11/16～翌1/13	58 日間
	多摩センタースプリングフェスタ	0 人	3/20～23	3 日間
	計	3,342,000 人		
2	ガーデンシティ多摩センターこどもまつり (中止)	0 人	5/3～5	3 日間
	多摩センター夏まつり (中止)	0 人	8/12～16	5 日間
	ハロウィンin多摩センター(WEB開催)	50,000 人	10/25～31	7 日間
	多摩センターイルミネーション	1,900,000 人	11/17～翌1/11	56 日間
	多摩センタースプリングフェスタ	12,000 人	3/20～22	3 日間
	計	1,962,000 人		
3	ガーデンシティ多摩センターこどもまつり (一部開催)	3,000 人	5/7～9	3 日間
	多摩センター夏まつり (一部開催)	62,000 人	6/21～30	10 日間
	ハロウィンin多摩センター(期間延長分散開催)	90,000 人	10/22～31	10 日間
	多摩センターイルミネーション(期間延長分散開催)	3,742,000 人	10/22～翌2/28	130 日間
	多摩センタースプリングフェスタ(期間延長分散開催)	67,000 人	3/1～31	31 日間
	計	3,964,000 人		